

会長挨拶



公益社団法人 宮城県シルバー人材センター連合会
会長 谷口 秀 樹

清秋の候、皆様には益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
当連合会の業務運営につきましては、日頃格別のご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げますとともに、今年度2年目を迎える連合会会長として、引き続き各センターの皆様と連携し、宮城県のシルバー人材センター事業の発展に努める所存でありますので、ご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

さて、平成29年度のシルバー人材センターの事業実績は、契約金額、就業延人員ともに過去最高となっております、これも偏に各センターの理事長はじめ、会員並びに役員の方々のご努力の賜と感謝申し上げます。

我が国は、超高齢・人口減少社会を迎え、政府の「働き方改革実行計画」においては、「シルバー人材センターやボランティアなど、高齢者のニーズに応じた多様な就労機会を提供する」とされており、シルバー人材センター事業の果たす役割の重要性と地域社会の期待は、一層大きなものとなっております。

本県におきましても今年3月末現在の60歳以上の人口が、全体の33・6%と過去最高を更新する一方、生産年齢人口は減少し、労働力不足が叫ばれるなど、地域経済の重要な担い手としてシルバー人材センターへの期待が益々高まっております。

会員数については、全国的に減少傾向にある中、本県は5年連続増加傾向にあります。これは日頃の各センターの皆様への取り組みの成果であると感謝申し上げます。

連合会では、今年度を初年度とする「第2次中期計画」を策定し、平成32年度の会員数の目標を約1万3千人として取り組むとともに、契約金額、派遣就業延人員等についても目標を掲げ取り組むことといたしましたので、各センターにおかれとも、積極的な取り組みをお願いいたします。

平成29年度は、死亡事故などの重篤事故が多発し、「安全はすべてに優先する」を基本として就業に取り組んできました、我々としては大変残念な結果となりました。今年度は、各センターにおかれましては、重篤事故はもろんのこと、日頃の事故の発生防止に向けて、一層会員に対して呼びかける等の対策強化をお願いいたします。

結びに、定年延長に伴う会員の高齢化や減少、適正就業や安全就業の徹底等、多くの課題がありますが、これらの課題解決に向けて、各センターの皆様と力を合わせて取り組んでまいりますので、皆様方には、一層のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

連合会定時総会開催

去る6月13日、平成30年度定時総会がホテル白萩において全会員出席の下、開催されました。

谷口会長からの挨拶の後、永年勤続職員の表彰とセンター理事長退任者への感謝状の贈呈があり、続いて北條宮城労働局長、村井宮城県知事より祝辞をいただきました。

議長には（公社）七ヶ浜町シルバー人材センターの吉嶋理事長が選任され議事に入りました。

まず、「平成29年度収支補正予算」について事務局から報告がありました。続いて、第1号議案「平成29年度事業報告（案）」及び第2号議案「平成29年度収支決算（案）」について一括で事務局から説明があり、監査報告の後、審議の結果、原案通り全会一致で承認可決されました。

次に第3号議案「定款の一部変更承認の件」、第4号議案「連合会第11期役員を選任承認の件」について、審議の結果、原案通り全会一致で承認可決されました。

最後に「平成30年度事業計画」及び「平成30年度当初予算及び補正予算」について、事務局から報告がありました。

議案

第1号議案

平成29年度事業報告承認の件

第2号議案

平成29年度収支決算承認の件

第3号議案

定款の一部変更承認の件

第4号議案

連合会第11期役員を選任承認の件

